

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農林整備課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）

基本施策ID	基本施策名
4 - 1 - 2	人が集い、農林業・産品を通じた交流を高める
重点施策ID	重点施策名
- - -	

2. 事業名等

事業名	元気な地域づくり交付金事業	事業区分	③	①新規 ②継続 ③その他（終了）
細事業名	田園自然環境保全整備事業	実施形態	①	①毎年 ②隔年 ③その他（ ）
事業主体	市		①	①直営 ②指定管理 ③委託 ④その他（ ）
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務			
実施期間	平成 18 年度 ～ 平成 20 年度	根拠法規	元気な地域づくり交付金実施要綱	
各種の計画への反映（＝根拠計画）		元気な地域づくり計画		事業ID 19007

3. 事業の内容等

事業の背景 多様な生態系や美しい景観等の農業・農村の持つ多面的機能の十全な発揮を図るため、自然再生の視点に基づく環境創造型の整備を行う。 大野町木浦内地区はダム建設予定地であったため、農地の管理や生活環境整備が立ち遅れている。ダム建設中止に伴い、地元振興計画を策定し早期に事業実施する必要がある。		補助事業	名 称	元気な地域づくり交付金		
			補助率	国	県	その他
		起 債 の 種 類		%	75 %	10・20 %
			①			
			②			
			③			

事業の目的及び対象		事業概要	
【目的】 本事業を実施することにより、農地の遊休化を防止し農業振興を図る。		本地区に対し、平成18～20年度の間、以下の事業を実施する。 平成18年度：農道整備・生態系保全施設整備・農業集落道整備 平成19年度：営農飲雑用水・鳥獣害防止柵設置・農業集落道整備 平成20年度：集落防災安全施設・鳥獣害防止柵設置・農業集落道整備	
【対象】 大野町木浦内地区		前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
		B	
		終了	

4. 予算・決算の状況

（単位：千円）

財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金						
	県支出金	22,560	22,560	22,560			
	地方債						
	その他		1,300	2,450			
	一般財源	7,560	6,260	5,110			
	計	30,120	30,120	30,120			
決 算	国庫支出金						
	県支出金	22,560	22,560				
	地方債						
	その他	597	753				
	一般財源	6,963	6,807				
	計	30,120	30,120				

5. 実績及び達成目標等

過去3年間の事業実績と課題

平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】	【実績】 ・農道整備 ・生態系保全施設整備 ・農業集落道整備	【実績】 ・営農飲雑用水整備 ・鳥獣害防止柵設置 ・農業集落道整備	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値

活動指標	座談会開催数						
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。						
成果指標	事業の進捗率						単 位 %
年 度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備 考
種 別		進捗率	進捗率	進捗率			
目標値			66	100			
実績値		33	66				
達成率		33.0%	100.0%				
備 考							

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局

部局名
課室名

産業経済部
農林整備課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	当地区の農地管理や生活環境整備が立ち遅れていることから、早期に振興事業を実施する必要があるため。					
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	農業基盤整備は、行政の責務であるため。					
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	本事業の交付金交付要綱により事業を実施しているため。					
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	事業は計画どおり実施していることから、一定以上の効果があるため。					
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	平成20年度に事業が完了するため。					
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	1	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	平成20年度に事業が完了するため。					
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	B	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	平成20年度に事業が完了するため。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
田園自然環境保全整備事業から元気な地域づくり交付金事業に事業名を変更して実施。						
部 長		課 長		班 長		担当者
						内線 2414 E-mail @bungo-ohno. jp